



## 合唱部定期演奏会

22日(土)は、合唱部の定期演奏会でした。毎年合唱部の最後のステージとして位置付けられていて、帯西の子供たち、来賓・地域の方々も楽しい演奏会となっています。合唱部の子供たちは、この日に向けて、合唱ばかりでなく、ミュージカルにも取り組み、一年間の集大成の姿を披露してくれます。当日は、生憎の寒波到来と重なり、開場した時間帯の体育館は冷蔵庫の様な冷たい空気が充満していましたが、合唱部の演奏会が始まるとその空気も一変し、小春日和のような暖かな空気に包まれていきました。そして、今年度のミュージカルの演目は「アニー」で、ニューヨークのブロードウェイミュージカルに引けを取らない迫真の演技で、子供たちのひた向きの歌や演技、それに身振り、手振りなどで観客を惹きつけました。ステージ上で輝いている子供たちの姿からは、確かな成長を感じることができました。



また、当日は帯山中学校合唱部も参加してくれて、中学生の全国レベルの高い表現力を聴かせてくれました。帯山小・帯西小、そして帯山中と、中学校区で合唱に取り組む下地と、歌による強い繋がりを感じることができました。帯西合唱部が歌った曲は、「一番はじめは」(熊本県・九州合唱コンクール)、「かわっただけだよ へんじゃない」(NHK 全国学校音楽コンクール)、「歌の始まり」(熊日学生音楽コンクール)、「いっしょうけんめい」(合唱祭)と、これまでの合唱部が努力してきた楽曲で、大所帯で心を一つに合わせて歌うことを大切にしてきた、これまでの努力を感じることができました。そして、最後に中学生と一緒に「BELIEVE」を歌ってくれて、「I believe in future 信じてる」の歌詞からは、私たちを取り巻く未来が明るいものになることを願わずにはられませんでした。

定期演奏会に参加された、会場の方々も、きっと「🌊 帯西ブルー」の心で帰路につかれたたことでしょう。合唱部の皆さん、そして合唱部を指導してくれた先生方、さらにそれを支えてくださった後援会の皆さん、感動をありがとうございました。

## わくわくチルドレン①

短歌の全国大会「しきなみ子供短歌コンクール」において、5年生の中村宗一朗さんが、見事入賞しました。この大会には、全国の小学校から58,514首もの応募があり、都道府県ごとの予選会を経て、最終選考会にて厳正な選考が行われました。中村さんの独創的な短歌を紹介します。



### 夏の朝 午前6時の虫とりへ カブトムシとの 大事な一戦

この中村さんの短歌からは、虫とりの朝を迎えた緊張感とわくわくした気持ちが伝わってきます。全国大会入賞おめでとう!

## わくわくチルドレン②

県小学生バトミントン総合大会において、5年生シングルスの中で、5年生の坂田剣士朗さんが、見事優勝を果たしました。この大会は今年度の県大会としては、最大の大会となるそうです。坂田さんは「試合の前は、少し不安な気持ちもあったけど、いろんな人の支えがあったことを思い出して、今まで練習したことを勇気に変えて試合に臨めました。これからも全国大会を視野に入れて頑張りたいです。」と大会を振り返っていました。県大会優勝おめでとう!

